

## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課  
担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道375号 作木拡幅 <small>さくぎかくふく</small>		事業区分	一般国道	事業主体	広島県
起終点	自：広島県双三郡作木村香淀 <small>ふたみ さくぎそんこうよど</small> 至：広島県双三郡作木村大津 <small>ふたみ さくぎそんおおつ</small>				延長	13.0 km
事業概要	一般国道375号は、広島県呉市から島根県大田市に至る延長約17.4kmの幹線道路である。作木拡幅は、交通隘路の解消及び交通の安全確保を目的とした、延長13.0kmの2車線道路である。					
S49年度事業化	都市計画決定なし		S51年度用地着手	S51年度工事着手		
全体事業費	約185億円		事業進捗率	7.2%	供用済延長	8.7km
計画交通量	1,900台/日					
費用便益分析結果	B/C	総費用		総便益		基準年
	(事業全体)	1.1	(残事業)/(事業全体) 29/258億円	(残事業)/(事業全体) 131/291億円		
	(残事業)	4.5	(事業費：24/238億円) 維持管理費：5/20億円	(走行時間短縮便益：123/276億円) (走行費用減少便益：7/13億円) (交通事故減少便益：1/2億円)		
感度分析の結果	事業全体について感度分析を実施					
	交通量変動		B/C=1.4 (交通量+10%)		B/C=1.1 (交通量-10%)	
	事業費変動		B/C=1.3 (交通量+10%)		B/C=1.2 (交通量-10%)	
事業の効果等	・国土・地域ネットワークの構築（現道における大型車のすれ違い困難区間L=13kmを解消する） ・個性ある地域の形成（JR三江線や1級河川江の川により一体的発展が阻害されている門田地区から伊賀和志地区を解消する）他9項目に該当					
関係する地方公共団体等の意見	作木拡幅は、島根県大田市方面と三次市を結ぶ生活・経済交流路線でもあり、作木村と三次市は平成16年4月1日の市町村合併に向けた重要路線の位置付けであるため、早期整備を求められている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	江の川カーブ公園さくぎ、川の駅等観光施設の整備が行われており、当路線は周辺観光施設の重要なアクセス道路となる。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地取得は概成し、平成14年度末までに8.7kmを部分供用している。平成15、17年度にはそれぞれ3.40m、4.54mを部分供用予定である。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	急峻な地形状況から大規模構造物が多く施工に長期間を要している。今後も引き続き工事を推進し早期供用が図られるように努める。					
施設の構造や工法の変更等	盛土材料として、近郊で施行中の作木大和道路の発生土を流用するなどコスト縮減を図っている。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。